産業情報
いわて
Industry Information Iwate
2020.11
VOL. 205
［公財］いわて産業振興センター広報誌

特集／キラリ輝く★いわての企業

ゆわて吉田工業株式会社

働きやすい環境で人材を育成

国内有数のインモールド工場

令和2年度 いわて商談会 開催のお知らせ／6
「第2回IoTキット活用勉強会」の開催／7
「管理会計講座（入門編）」の開催／7
岩手イノベーションベース「第1回月例会」の開催／7
「IATF16949セミナー」の開催／7
海外市場展開支援事業の概要／8

特集／キラリ輝く★いわての企業

工場内は広く、余計な光が入って反射しないように暗めにし、傷などが見つけやすいようにしている

薄くて軽い、インモールド技術による製品サンプル

働きやすい環境で人材を育成 国内有数のインモールド工場

大船渡市／ゆわて吉田工業株式会社

コンパクトの国内シェア No.1企業の工場として創業

ゆわて吉田工業は、樹脂製品の成形と加飾を同時に行うインモールド技術を世界で初めて開発した吉田テクノワークス（株）の工場部門だ。グループの化粧品コンパクトの国内シェアは80%を誇る。そんな企業が平成2年、岩手に進出。今年30周年を迎えた。社名の「ゆわて」は創業時「岩手」だったが、「いわて」をベースに運のよい字画で決めた名前だという。

もともと工場を大船渡市に造ったのは、水産加工品の容器工場を造ってほしいというお客様からの要請だった。「最初のころはいかの塩辛用の容器をつくっていました」と、平野工工場長は振り返る。さらにポータブルオーディオプレーヤーなども手掛け、やがて携帯電話、スマートフォンへと、時代の要望に応えてきた。市場の変化に対応し発展する同社は、経済産業省より地域未来牽引企業の選定をうけている。

スマホから車載パネルへ

モバイルフォンの発展期には複数メーカーの製品を製造し、国内生産シェア6割を占めていた。新製品の発売時期が重なるため、土日もフル稼働で生産し、全国分の量を2、3か月で用意した。

手元の光で、製品のキズや汚れを目視する

インモールド成形のメリットは美しさと手間の軽減。成形後、印刷したり、塗装したりといった工程が成形時フィルム一枚を金型内に挟み転写するという技術で省かれる。

「極端にいうと、普通の製品で、3、4日かかるものが、当社は1日でできるということになります」と、平野工場長は語る。モバイルフォンを生産する国内メーカーの多くが製造から撤退する動きに合わせ、次の市場としてタッチパネルが主流になってきたセンターインフォメーションディスプレイパネルにアプローチした。光が反射する環境でも見やすいよう、ギラツキ防止のインモールド箔や、ディスプレイの課題である偏光歪みを軽減させる技術などで品質向上を図っている。現在の主力製品はモバイルフォン・カメラパーツ・ヘルスケア・アミューズメントなどの一般家電と、カーナビパネルといった車載部品だ。

製品の品質を測定室で確認する

震災後、高台に工場を新設した

意匠に優位なインモールド技術

透明なプラスチックを表と裏で別のフィルムで挟めば、別々の絵柄が重なり立体感が出るような深みのあるデザインが可能だ。メタリックに仕上げるアルミ蒸着は、電波を通さない性質があってモバイルフォンなどには使えなかったが、電波を通す不連続のインジューム蒸着などを開発し、メタリックのデザインを可能にした。逆にマットな質感のベビースキンタッチインモールドなど、技術によってデザインの幅が広がっている。この技術力を生かす新しい仕事を求め、いわて産業振興センターの商談会や県内企業の紹介といった活動支援も受け、業績向上を図っている。

1 材料をクレーンで吊上げて入れる500tの成形機 2 次の人のために使ったものを戻しやすい工具置き場 3 青は余裕、黄色は間に合う、赤は間に合わない。材料などの在庫はシールで見える化 4 製品にできる突起物(バリ)取りを確認中。バリ取りの機械は社員が開発した 5 被災した旧工場から持ってきた社名プレート

震災後の新体制づくり

海辺にあった工場は東日本大震災で全壊したが、グループ補助金および高度化スキーム貸付を利用し、1年半後には現地の高台に工場を新設した。平野工場長は、地元出身で工場ができて2年目に入社し、震災後に地元採用者で初の工場長となった。新しい工場では、成形機の台数は減らしたが、大は小を兼ねると、500t成型機を2台購入し、一度につくる量を増やした。

労働環境の改善にも取り組み、2018年1月の「いわて働き方改革推進運動」の取り組み宣言を機に、非正規社員も試験や面接を受け正社員になれる「ジョブチャレンジ制度」を再度周知し活用を促した。新しく意欲のあるものの発掘・育成・自己実現の機会提供、公平性の向上、自立型人材の育成を狙いとした取り組みだった。その結果、半年間で6名の正社員が誕生し、岩手県「いわて働き方改革 AWARD 2018」で優秀賞受賞となった。

新しい人事制度への取り組み

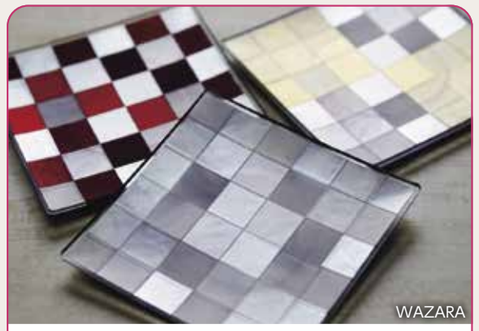
同社では6月から新しい評価制度をスタートした。1年半前から経営陣を含む全社員からアンケートを採り、さらにその回答に基づき仕組みをつくるプロジェクトメンバーを決めて進めてきた。技術面と、仕事への姿勢の二つで判断する評価制度だ。多能化へ向けた教育を進めるとともに、個人のスキルアップ目標を設定し、ものづくりの知識技能が備わっているか、職務行動はどうかなど96項目を測る仕組みだ。いい仕事のポイントは、他者視点で動くこと。親から学び、自ら実践してきた工場長の信念だ。

職場の安定が生産の安定につながる。業界屈指の技術力に、働きやすい職場、納得のいく人事評価制度によって、人が成長し、企業が成長する。

技術ポイント

製品の可能性を広げるインモールド技術

金型の中にフィルムを挟みこみ、プラスチックを流し込むことにより、成形とデザイン加飾等が一つの工程で実現可能になる無限の可能性を秘めた技術。



インモールド技術を活用した自社ブランドによるオリジナル雑貨も発売中

【オーナメント】生活雑貨も製造・販売している。ほかに類を見ない独特の色味、そして軽さ。カードケース、ペンケースなどシリーズ商品の販売を行っている。
【吉(KICHI)】日本の伝統意匠をモチーフとするブランドでWAZARAを発売している。

▶ 工場長メッセージ

他者目線を大切に成長する工場に

工場長 平野 工

ものづくり企業としての仕組みの充実と、社員一人ひとりが担う役割を果たすうえで必要な行動を全員で取り組む会社です。何事も自己都合ではなく、他者目線で関わることを大切にしています。仕事を通じて、個人のキャリアを上げ、会社と地域社会への貢献に取り組んでいきたいと考えます。

▶ 代表メッセージ

ものづくり企業のこだわり

代表取締役 吉田 重雄

1946年9月、空襲で焼け野原となった東京の下町、墨田区に、戦地から帰ってきた吉田重喜が5人で起こした吉田製作所が、私たちの発祥です。戦後間もないころ、女性用化粧品のコンパクトケースをつくるという仕事に、夢と希望とプライドを持って彼らは打ち込んでいたことと思います。

ペレットと金型を使って、形のある製品をつくり上げることの楽しみ、その製品を使っていただくことの喜び、それこそ、ものづくりに携わるメーカーの醍醐味でしょう。私たちは、自分達にしかできないものづくりを、自分達の手で行ってゆくことに、こだわりを持ち続けています。

企業DATA

会社名	ゆわて吉田工業株式会社
代表者	吉田 重雄
業種	製造業
工場	岩手県大船渡市立根町字立根山1-32
電話	0192-27-1454(代表)
沿革	昭和21年／合成樹脂成形加工業「吉田製作所」設立 昭和48年／世界初【インモールド工法】開発 平成 2 年／岩手工場建設、稼働 平成24年／岩手新工場竣工 平成25年／自社ブランド販売開始
従業員	103名
資本金	1000万円
URL	http://www.yoshida-tw.co.jp 〈吉田テクノワークス(株)〉

YOSHIDA TECHNOWORKS CO., LTD.

令和2年度
いわて商談会 開催のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大を受け、商談会の開催について検討を行っておりましたが、開催を望まれる県内企業様からの声を受け、「通常商談会方式」と「非対面方式（オンライン、書面マッチング）」による企業間での個別商談の2方式から選択いただく形式での商談会を開催することとしました。

開催日程　**令和3年2月17日（水）　12時30分～16時40分（受付11時30分～）**

開催場所　**北上総合体育館**
〒024-0051 岩手県北上市相去町高前檀27-36
アクセス：北上駅より路線バスで15分、北上金ヶ崎ICから車で5分　無料駐車場完備
※北上駅から会場を往復する貸切バスを運行予定です。詳細は後日お知らせいたします。

商談会参加料

賛助会員	岩手県内企業 非賛助会員	岩手県外企業
3,000円／1名	6,000円／1名	8,000円／1名

※発注企業様の参加料は無料です。
※納付につきましては後日、改めてご案内申し上げます。

定員　**発注企業 70社、受注企業 150社**
※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、1社2名までとさせていただきます。

懇親会　例年開催している懇親交流会については、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から今年度は開催しません。

申込締切日　**令和2年12月4日（金）**
申込締切前に定員に達した場合、参加をお断りする場合もございます。

スケジュール・注意事項等

▶ スケジュール

内容	11月	12月	1月	2月	3月
受発注企業募集	11/4～12/4				
資料送付（参加者名簿、面談希望調査票）			1/13頃		
面談希望調査票の提出締切			1/27頃		
面談スケジュール連絡				2/8頃	
参加費納付期間			1/13～2/15		
商談会開催				2/17	
書面マッチング案内/実施				2/22～	

▶ 開催中止の可能性について

新型コロナウイルスの感染状況によっては、通常商談会方式を中止する場合がございます。その場合は「非対面方式」による企業間での個別商談に移行予定です。通常商談会方式が中止になった場合も参加費の返金は致しかねますので、予めご了承のほどお願い申し上げます。

▶ 新型コロナウイルス感染防止対策について

通常商談会方式当日に37.5℃以上の発熱、体調がすぐれない方は入場をお断りさせていただきます。

通常商談会方式当日は、マスク着用、消毒の徹底にご協力をお願いします。また、会場は暖房設備等ございますが、換気を定期的に行うことから、寒くない服装でのご来場をお願いします。

申込方法
（1）詳細につきましては、センターホームページをご確認ください。
（2）申込はホームページより申込書をダウンロードのうえ電子メール、またはFAXにてお申込をお願いします。
（いわて産業振興センターHP）**http://www.joho-iwate.or.jp**

QRコード

トップページ ▶ センターからのお知らせ ▶ 令和2年度いわて商談会の開催について

●申込・お問い合わせ先　ものづくり振興部　取引支援・産業集積担当　担当：東、伊藤
TEL：019-631-3822　FAX：019-631-3830　Email：torihiki@joho-iwate.or.jp

各部事業紹介　事業者様の取り組みをサポートします。

産業支援部

「第2回IoTキット活用勉強会」の開催

県内企業におけるIoTの導入を推進するため、10月22日に第2回 IoTキット活用勉強会を開催し、9名の方に参加いただきました。これまでは簡便なシステム構築を習得いただく基礎編でしたが、次回は、入力データをデータベースに蓄積して活用する中級編の開催を企画しております。

●お問い合わせ　生産技術革新担当
TEL：019－631-3824

「管理会計講座（入門編）」の開催

9月16日から2日間、管理会計講座（入門編）を開催（受講者27名）しました。なお、講座終了後には、要望に応じて個別企業への訪問を行っています。

また、終了後のアンケートで「中級編」を望む声が多かったため、現在、年度内の開催に向けて内容を検討しており、近いうちに案内を行う予定です。

●お問い合わせ　産業人材育成担当
TEL：019－631-3824

岩手イノベーションベース「第1回月例会」の開催

岩手イノベーションベースでは、10月23日に第1回月例会として、「地方から上場経営者への道」をテーマとして講演会を開催しました。

今後も毎月先輩起業家を招き、起業家や社会人、学生などアントンプレナーシップを持つ方々の成長を支援してまいります。

●お問い合わせ　地域産業・起業支援担当
TEL：019-631-3823
岩手イノベーションベース
TEL：019-601-9512

ものづくり振興部

「IATF16949セミナー」の開催

自動車産業へ新規参入を目指している企業様や品質管理担当者様を対象として、品質マネジメントシステムの国際規格であるIATF16949（自動車産業）規格解説セミナーを10月26日～27日に北上市で開催しました。

今後も受注拡大に向けた、企業様の付加価値向上への取り組みを支援してまいります。

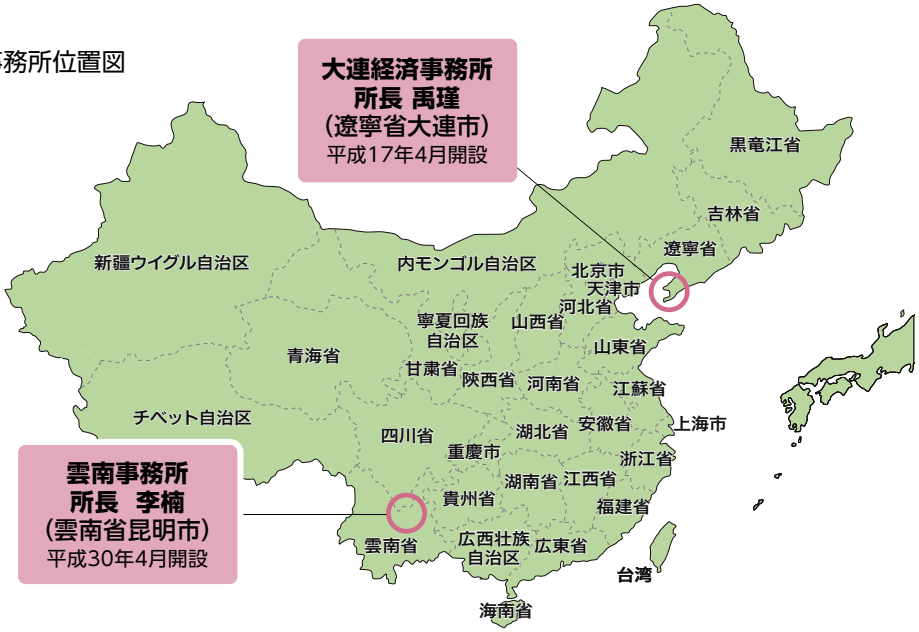
●お問い合わせ　取引支援・産業集積担当
TEL：019-631-3822

海外市場展開支援事業の概要

県では、経済成長を続け一層の市場性が見込まれる中国との経済交流をはじめとした各種交流を拡大し、県内企業の中国市場への展開を支援するため、遼寧省大連市及び雲南省昆明市に事務所を開設しています。

当センターは、事務所の設置主体となり、事務所の管理運営や経済交流事業等を行っています。

●参考:事務所位置図



【主な事業】

大連経済事務所：大連展示商談会(9月)、中国ECサイトへの県産品の紹介・販売(通年)等
雲南事務所：中国－南アジア博覧会(6月)、バイヤー招聘・誘客(随時)等

現在、新型コロナウイルスの影響による日中間の渡航制限により、相互の人的交流ができない状況にあるため、現地へ赴いての商談会への参加やバイヤー招聘に代わる取組として、中国のECサイトへの出展やオンライン商談等を活用した経済交流を進めています。

【令和元年度の活動状況】

大連展示商談会

南アジア博覧会

バイヤー招聘による商談

●お問い合わせ　海外戦略室　TEL：019-631-3820

産業情報 いわて
(公財)いわて産業振興センター広報誌
■発行／公益財団法人いわて産業振興センター
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡2丁目4-26(岩手県先端科学技術研究センター1F・2F)
[TEL] 019-631-3820(代)　[E-mail] joho@joho-iwate.or.jp
[URL] http://www.joho-iwate.or.jp/
■発行日／2020年11月20日　■印刷／川口印刷工業株式会社

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。